

## 公益社団法人 日本騒音制御工学会 2020 年春季研究発表会プログラム

開催期日 2020 年 4 月 17 日(金)

開催会場 豊洲シビックセンターホール (東京都江東区豊洲 2-2-18)

日本騒音制御工学会は、新型コロナウイルス感染症が拡大してきている現状や、政府が 3 月 19 日に発表した「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」を踏まえ、4 月 17 日 開催を予定しておりました 2020 年春季研究発表会 (於:豊洲シビックセンターホール)の 中止を決定いたしました。

詳しくは、トップページ News 「2020 年春季研究発表会の開催中止について」をご参照下さい。

懇親会 2020 年 4 月 17 日(金) 18:00~19:30

会場: 永利 (中国東北家郷料理) 江東区豊洲 3-3-3 豊洲センタービル 1F

電話 03-3536-1908

会費: 5,000 円 (学生会員は 3,000 円)

懇親会当日は満席になる可能性があります。ご出席ご希望の方はお早めに事務局までご予約下さい。会費は当日正午までに総合受付に納入下さい。

実行委員会	委員長	杉江 聡	一般財団法人小林理学研究所
	委員	倉片 憲治	早稲田大学
		横島 潤紀	神奈川県環境科学センター
		上田 麻理	神奈川工科大学
		河原塚 透	大成建設株式会社
		岡田 恭明	名城大学
		雉本 信哉	九州大学大学院

### 発表会要領

- (1) 発表時間は、原則、質問・討論を含めて 1 件 18 分以内とします。講演時間は 15 分、時間は厳守願います。
- (2) プログラムの講演者氏名に○印を付したものは講演者、◎印は研究奨励賞の対象者、☆印は認定技士、△印は非会員です。
- (3) 座長は都合により変更されることがあります。
- (4) 各セッションは、3 分科会によるオーガナイズドセッションです。

	10:00~12:00	13:00~15:00	15:10~17:10
シビックセンターホール	環境振動の測定技術及び評価手法に向けた新たな展開	低周波音問題のこれまでとこれから	高周波音曝露に関する EU 諸国の最新の動向と我が国の現状
	環境振動評価分科会	低周波音分科会	高周波音検討分科会

環境振動の測定技術及び評価手法に向けた新たな展開

午前：10:00～12:00

座長 横島潤紀 林 健太郎

1-1-01 (招待講演)道路交通振動の現状と課題

○日暮智紀(環境省 自動車環境対策課)

1-1-02 振動測定マニュアルの改訂

○馬屋原博光(リオン), 横島潤紀(神奈川県)  
石田理永(石田振動環境研究室), 大石 力(環境調査設計)  
白石英孝(埼玉県), 西村昌也(ジェイアール東海コンサルタンツ)  
平尾善裕(小林理研)

1-1-03 地盤の三方向振動の測定・評価における問題提起

○石田理永(石田振動環境研究室), 関口 徹, △田中健太, △菅野 哲(千葉大)

1-1-04 防振ゴムの振動伝達率を利用した畳床の環境振動測定方法に関する実験的検討

○富田隆太(日大理工), 後藤佑太(日大院), △青木怜依奈(日大理工)

1-1-05 振動測定マニュアルに則した、長期間における振動レベル測定の結果報告

○山下広大, 蓮見敏之, 馬屋原博光(リオン)

1-1-06 鉛直-水平2軸交通振動に対する人の心理的反応に関する基礎的検討

○松本泰尚, 池田佑希奈(埼玉大), 土屋亜美, 森原 崇(石川高専)  
横島潤紀(神奈川県), 林 健太郎(ベネック振動音響研究所)

低周波音問題のこれまでとこれから

午後(1)：13:00～15:00

座長 倉片憲治 大屋正晴

1-1-07 (招待講演) 低周波音問題への取組みについて

○東 利博(環境省 大気生活環境室)

1-1-08 低周波音問題に対する調査・研究の歴史

○町田信夫(日本大学)

1-1-09 低周波音問題に対する技術的アプローチの歴史

○☆工藤信之(元東京農工大)

1-1-10 低周波音分科会 100回の歩み

○落合博明(小林理研)

1-1-11 (招待講演)インフラサウンドを利用した減災の取り組み

○新井伸夫(名古屋大)

1-1-12 複数マイクロホンを用いた機械・設備から発生する低周波音の計測

—低音圧レベルの場合を対象にした計測方法の試み—

○土肥哲也, 岩永景一郎, 小林知尋(小林理研), 中山 紬(学習院大)  
青木創一朗, 中島康貴(リオン)

高周波音曝露に関する EU 諸国の最新の動向と我が国の現状

午後(2)：15:10～17:10

座長 上田麻理 中村健太郎

1-1-13 Latest trends on VHF researches

○Mari Ueda(KAIT), △T. G. Leighton(ISVR), △Hideyuki Hasegawa(Univ. Toyama),  
Masaaki Hiroe(Kobayasi Inst. Phys. Res.), Kentaro Nakamura(Tokyo

Tech.)

1-1-14 超高周波音のガイドラインの現状

○廣江正明(小林理研), 尾崎徹哉(リオン), △長谷川英之(富山大)  
上田麻理(神奈川工科大), 中村健太郎(東工大)

1-1-15 超高周波音の曝露の現状

○尾崎徹哉(リオン), 廣江正明(小林理研), △長谷川英之(富山大)  
上田麻理(神奈川工科大), 中村健太郎(東工大)

1-1-16 超高周波音の計測

○高橋弘宜(産総研), 中村健太郎(東工大), 廣江正明(小林理研)

上田麻理(神奈川工科大)

1-1-17 身の回りの超高周波音その1

○廣江正明(小林理研), 上田麻理(神奈川工科大), △長谷川英之(富山大)  
中村健太郎(東工大)

1-1-18 身の回りの超高周波音その2

○上田麻理(神奈川工科大), 廣江正明(小林理研), △長谷川英之(富山大)  
中村健太郎(東工大)